



特別企画「横幹連合: 10周年を迎えて」 の編集に際して

会誌編集委員会委員長 松岡 由幸*

横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）は2003年4月に発足され、今年で10周年を迎えることになりました。この記念すべきときを受け、本号におきましては特別企画「横幹連合: 10周年を迎えて」を企画し、編集を進めてまいりました。ここでは、会誌編集委員会を代表いたしまして、ひとことご挨拶させていただきます。

本号では、まず、総合科学技術会議の議員のお立場から横幹連合の活動を支援してくださいました3名の先生方に、ご寄稿を頂戴いたしました。桑原洋先生、柘植綾夫先生には、横幹連合の設立と横断型基幹科学技術推進協議会の運営を通じてさまざまなご助言、ご指導をいただき、横幹連合のあるべき道を示唆してくださいました。また、相澤益男先生には、第4期科学技術基本計画におきまして横断型科学技術の重要性に賛同していただき、横幹連合の活動に大きな推進力を与えてくださいました。ここで、先生方には、これまでのご厚意とこのたびのご寄稿に対して深謝申し上げるとともに、これからも相変らぬご指導、ご鞭撻を賜りたく、お願い申し上げます。

つぎに、横幹連合におけるこれまでの10年間を牽引していただきました3名の歴代会長に、論説記事をご執筆いただきました。初代会長であります吉川弘之先生には、「横幹の体幹」について、社会的期待の発見の重要性をまじえた玉稿を賜りました。第2代会長の木村英紀先生には、「横幹」の概念はいかに生れたか」と題して、横幹の理念についての究考を頂戴いたしました。また、第3代の現会長である出口光一郎先生からは、「横幹連合の過去・現在・未来」と題して、横幹連合はこれまで「何を考えて来たか」、そしてこれから「何を考えていくべきか」についての論考を拝受いたしました。

つづきまして、事務局長である船橋誠壽理事、企画・事業委員長である田村義保副会長、田中秀幸理事、および本多敏理事には急遽、横幹連合10年史編纂委員会を組織していただき、膨大なデータを整理した「横幹連合10年の歩み 理念構築から実践へ」をご執筆いただきました。これにより、横幹連合の未来についての議論の礎ができたものと考えます。

さらに、本号におきますミニ特集といたしまして、出口会長のリーダーシップの下に進めてきました、横幹連合会員学会の連携による震災克服調査研究に関する三つのワーキンググループの活動報告をお願いいたしました。田村義保副会長には「生活における社会の強靱性の強化」、大場允晶理事には「経営の高度化と強靱性の強化」、安岡善文副会長には「環境保全とエネルギー供給における強靱性の強化」について、それぞれご執筆いただきました。

最後に、本特別企画号のご執筆、編集に関しましては、多くの方々にご尽力いただきました。ここであらためて、心より御礼申し上げます。

*慶應義塾大学大学院理工学研究科